

農地等の利用状況報告書

平成△△年△△月△△日

北杜市長 殿

所在地 北杜市〇〇町〇〇△△番地
名称 株式会社〇〇〇〇

印

利用権の設定を受けた農用地の利用状況について、経営基盤強化促進法第 18 条第 2 項第 7 号の規定により下記のとおり報告します。

記

(事業年度：平成△△年△△月△△日 ～ 平成△△年△△月△△日)

1 利用権の設定を受けた者の氏名等

法人名称及び代表者氏名	主たる事務所の所在地等
株式会社〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇	北杜市〇〇町〇〇△△番地 TEL △△△△△ FAX △△△△△

2 利用権の設定を受けた農地又は採草放牧地の面積 (㎡)

計	田	畑	採草放牧地
	1,500 ㎡	1,000 ㎡	500 ㎡

3 2の農用地における事業の状況

農畜産物名	作物の作付面積 又は栽培面積(㎡)	生産数量	反収	備考
水稻	1,000 ㎡	△△kg	△△ kg/10a	
トマト	500 ㎡	△△kg	△△ kg/10a	

- 4 利用権の設定を受けた者が行う耕作又は養畜の事業がその農用地の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼしている影響

特になし

- 5 地域の農業における他の農業者との役割分担の状況

地域の農業用水路の清掃活動に参加

- 6 業務執行役員の状況

氏名	常時従事者の役職名	耕作又は養畜の事業の年間従事日数
〇〇 〇〇	取締役	200日

- 7 その他参考となるべき事項

- ※ 定款の写し、その他参考資料を添付してください。
- ※ 事業年度終了後3ヶ月以内に報告ください。

(記載要領)

- 2の「利用権の設定を受けた農地又は採草放牧地の面積」は報告事業年度において利用権設定を受けている面積を記載してください。
- 3の「事業の状況」には利用権設定を受けている農用地における主な作物の種類別作付面積又は栽培面積、生産数量及び反収を記載してください。
- 4の「利用権の設定を受けた者が行う耕作又は養畜の事業がその農用地の周辺の農用地の農業上の利用に及ぼす影響」には、例えば、病害虫の温床となっている雑草の刈取りをせず、周辺の作物に著しい被害を与えていないか等記載してください。
- 5の「地域の農業における他の農業との役割」には、例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、道路、水路、ため池等の共同利用施設の取り決めの厳守、獣害被害対策への協力等の取り組み状況(今後取り組む場合はその見込み)について記載してください。
- 6の「業務執行役員の状況」については、個人である場合は記載不要です。「耕作又は養畜の事業の年間従事日数」欄には、当該事業年度において法人の行う農業に常時従事した業務執行役員の耕作又は養畜の事業への年間従事日数を記載してください。